

1 研究の概要

(1) 研究主題

新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校理科の授業の質的改善

(2) 研究の目標

新学習指導要領の趣旨を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた小学校理科の授業の質的改善を図るまでの道筋を明らかにし、授業を見直し、質的改善につなげるための方法を提案する。

(3) 研究方法

- ア 小学校理科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究及び実態調査
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図り、構想した小学校理科の授業実践
- ウ 授業実践を通じた児童の変容の分析・考察
- エ 年間を通して取り組む手立ての一般化

(4) 研究内容

- ア 小学校理科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究を行いました。理論研究と児童の実態を基に、従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見直し、児童の実態に応じた年間を通して取り組む手立てを探ります。
- イ 従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点で見直しを図り、授業展開案、ワークシート、教材等を作成し、研究委員の所属校で実践授業を行います。
- ウ 実践授業及び単元全体を通じた児童の変容を分析・考察し、改善の視点や年間を通して取り組む手立ての有効性を見ます。
- エ 授業年間を通して取り組む手立てと手立てを一般化し、汎用性のあるものにして、質的改善を図るための方法を明らかにします。